



Society of Organic Solar Cell

有機太陽電池研究会



CREST 有機太陽電池シンポジウムのご案内

——光・ナノ・バイオ技術から光電変換機能への展開——

有機太陽電池は、CO₂ 排出を削減し得る次世代エネルギーのターゲットとして近年とくに注目を集めています。本シンポジウムは、京都大学グローバル COE および毎年 7 月中旬に開催しております有機太陽電池研究会シンポジウムとの共催により、国内外の著名な先生方に、分子素子への応用の可能性を秘めた、光技術、ナノ・バイオテクノロジーの最近の展開に関して、光電変換機能への応用を視野に、幅広く話題提供をしていただこうと考えております。是非、奮ってご参加くださいますようご案内させていただきます。

日時：2009 年 7 月 13 日（月）～14 日（火）、9 時～17 時

場所：京都大学吉田本部構内 時計台百周年記念会館

参加申し込み：参加希望者は、氏名、所属（メールアドレス、電話）、住所をご記入の上、下記 FAX あるいは E-mail アドレス宛にご連絡下さい。

主催：科学技術振興機構（JST）戦略的創造研究推進事業（CREST）

共催：有機太陽電池研究会、京都大学グローバル COE 「地球温暖化時代のエネルギー科学拠点」

7 月 13 日（月）

- 9：00-9：30 吉川 暹 (京都大学)・有機太陽電池の素子構造・材料・プロセス技術の新展開
 9：30-10：00 川島一政 (サイバネットシステム)・有機デバイスの発光(OLED)/光吸収特性のシミュレーションツール
 10：00-10：30 橘 泰宏 (大阪大学)・導電性高分子/金属酸化物ナノハイブリット界面の制御と太陽電池への応用
 10：30-11：00 山田容子 (愛媛大学)・溶液塗布型低分子有機半導体材料の開発
 11：00-11：30 今堀 博 (京都大学)・Elucidation of Basic Principles in Highly Efficient Organic Solar Cells
 11：30-12：00 内田 聡 (東京大学)・色素増感型有機薄膜太陽電池
 13：00-13：30 富田孝司 (東京大学)・太陽光発電の動向と課題
 13：30-14：00 柳田祥三 (大阪大学)・バイオ系に学ぶハイブリッド有機太陽電池
 14：00-14：30 早瀬修二 (九州工業大学)・Hybrid and Tandem Dye-Sensitized Solar Cells and Control of Charge Separation Interfaces
 14：30-15：00 當摩哲也 (産業技術総合研究所)・有機薄膜太陽電池の新規構造の開発とモジュール技術の検討
 15：15-15：45 瀬川浩司 (東京大学)・Novel Photovoltaics based on Direct Interfacial Charge Transfer Transition from Surface-Bound Organic Compounds to Semiconductor
 15：45-16：15 藤田克彦 (九州大学)・Organic Devices Prepared by Evaporative Spray Deposition using Ultradilute Solution (ESDUS)
 16：15-16：45 森 竜雄 (名古屋大学)・自己組織化膜の有機 EL 素子への応用
 16：45-17：15 有賀克彦 (物質・材料研究機構)・Hand-Operating Nanotechnology
 ※ 17:30-19:00 懇親会 (一般 3,000 円, 学生 1,000 円を当日受付にて申し受けます)

7 月 14 日（火）

- 9：00-9：30 梅野正義 (中部大学)・カーボン系薄膜太陽電池と CNT の活用
 9：30-10：00 三室 守 (京都大学)・A Unique Photosynthetic System in the Chlorophyll d-dominated Cyanobacterium *Acaryochloris marina*
 10：00-10：30 南後 守 (名古屋工業大学)・Development of Nanobiodevices : Artificial Photosynthetic Antenna Protein Complexes for Photoelectric Conversion Devices
 10：30-11：00 小夫家芳明 (京都大学)・ポルフィリン超分子配位組織体を用いる分子配線と 2 光子吸収
 11：00-11：30 大野敏信 (大阪市立工業研究所)・Synthesis and Properties of Methanofullerene Derivatives as Acceptors for Organic Photovoltaic Cells
 13：00-13：30 藤平正道 (東京工業大学)・Kelvin Probe Force Microscopy of Indium-Tin-Oxide (ITO) and Tin Oxide Surfaces Chemically Modified with Various Acid Chlorides
 13：30-14：00 坂口浩司 (愛媛大学)・電気化学エピタキシャル重合で形成した 1 分子細線列の構造と機能
 14：00-14：30 清水 洋 (産業技術総合研究所)・Mesophase Semiconductors: Self-Assembling Organic Semiconductors and The Device Applications
 14：30-15：00 森 正吾 (信州大学)・Factors Influencing Electron Lifetime in Dye-Sensitized Solar Cells: Influence of Sensitizers, Electrolytes and co-Adsorbents
 15：00-15：30 平本昌宏 (分子科学研究所)・近赤外に感度を有する PIN 型有機薄膜太陽電池
 15：30-16：00 平井義彦 (大阪府立大学)・ナノインプリントによる表面微細構造の創生と利用

世話人代表：京都大学エネルギー理工学研究所 吉川暹

(参加申し込み先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所

分子集合体設計研究分野 瀧下 E-mail: takisita@iae.kyoto-u.ac.jp, Fax: 0774-38-3508,

Tel: 0774-38-3504)